

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトルビーンズ・イッポ		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員全13人(管理者含む)中、11人が保育士であること。内5名は経験5年以上であることから、保育経験が圧倒的に豊富である。特に未就園児の保育には自信を持っている。	豊富な知識と経験から各児童に合わせた細かなモニタリングにより、支援計画に生かしている。	個々の特性をしっかりと見極める為、複数担当制とし、モニタリングを可視化し、求めに応じて公表もしていきたい。
2	英語を含むアクティビティの取り組みが多岐に渡る。アート、クラフト、運動、リトミック、楽器音楽遊び等々。	得意な分野を伸ばすように心がけている。例) 英語を得意とする児童にはバイリンガル保育士が英語で話しかける等	飽きの来ないよう、今より更にアクティビティ内容の充実を図る。
3	長時間(最大5時間)のお預かりに対応。生活を通じて様々なことを学ぶ。	隣接の認可外保育施設にて延長保育にも対応。集団へ自然な流れで移行できる。	時間内にメリハリをつけ、集団への参加機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能事業所ではあるが、放デイ対象児の受け入れは積極的に行っていない。	児発がメインとなっている為、そもそも人数の枠が少ない。	今後も、新規の放デイ対象児の受け入れは難しい状況となることが予想されるが、児発卒業年齢に達した児童においては、引き続きのご利用をご希望の場合は在籍していただき、放デイ枠としてお引き受けしたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リトルビーンズ・イッポ

公表日 2026年4月10日

利用児童数

年 月 日

回収数 12

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				サーキットやお絵描きなど色々な活動がある。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				大きな怪我なく通えているので、目が届いていると感じる。・毎日細かく子どもと関わってくれている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2		1	バリアフリーについては不明。それ以外は適切。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				いつ行っても綺麗。イベント、季節毎に変わる装飾が楽しみです。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2		1	専門性は不明だが、子どものことはよく理解してくれている。・汎用性の高い事業所と思う。・子どものペースに合っている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	2		1	支援計画に沿った支援で出来ることが増えた。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				自宅では難しいようなプログラムも組み込まれていて非常に良い。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1		2	隣接の保育園や老人ホームとの関わりもある。	同ビル内高齢者通所施設「きらり」にはイベント毎にご挨拶に伺ったり、遊んでいただいたりしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1		1		ご説明が不十分だったかもしれません。ご意見真摯に受け止め改善してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		2	情報提供は行われている。	今後も情報をご提供させていただき、研修会等の開催も前向きに検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				職員の人数が多いが職員間でしっかり共有理解されている。・連絡帳や送迎時に詳しく説明がある。	今後も職員間での情報共有は徹底して行ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				本人の成長、状態に合わせて支援されている。・助言に関してはきちんと面談形式で対応してくれる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				どの職員も寄り添ってくれている。・否定的な発言はなく良く接してくれる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		5	4	保護者会はなし。交流の機会も少ない。	保護者会や交流の場、イベントの開催は今後前向きに検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				些細なトラブルにも迅速に対応してもらえる。今後も何かあれば相談したいと思える。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				連絡帳に毎日たくさん書いてあり、写真付きなので見るのが楽しみ。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	1	園だより、ニュースレターが毎月配信され、行事等が確認できる。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			写真等も十分に配慮されていると感じる。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			防犯対策もしっかりされているのが伝わる。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			毎月必ず訓練が行われるので、安心感がある。・ビル全体の合同訓練も行われている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			定期的に訓練が行われており、意識が高いと感じる。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		連絡帳に記載して欲しい。・お迎え時を待たずに一旦連絡が入るので以前より改善された。・少しの怪我でも伝えてくれる。	事故等の発生には十分注意してまいります。やむ負えずご連絡を入れなければならない場合には出来る限り迅速に行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			親も安心感を持って通えている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12			楽しみにしている。写真を見ても楽しく過ごしているのが伝わる。・毎日「楽しい」と言いながら通っている。先生方が大好きなようだ。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			満足している。・いつも良くてくださりありがとうございます。・おかげ様で集団行動ができるようになりました。社会を学べました。	温かいお言葉いただき、ありがとうございます。いただいたご意見・ご希望は真摯に受け止め、更に改善に務めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リトルビーンズ・イッポ		公表日	2026年 4月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童の人数や特性に応じて、加配等の配慮をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		現在のところ対象事案なしの為、バリアフリー化に対応していないが、将来的には要検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃、消毒の実施	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静かな環境で集中が必要な時には、相談室の利用や、ミニテント等を活用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		フィードバックは常に職員間で共有	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティング開催	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		R8年度より第三者による外部評価実施予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必須項目を含んだ研修を毎月実施、職員の資質向上に努めている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上にて公開	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメント以外にも送迎時にはフィードバックを行い、コミュニケーションを多く設けている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングは児発管以外で行う場合が多い	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個人をリーダーに立て、毎日のプログラムを提供	リーダーの元、チームにて工夫、対応していきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		アート、クラフト、音楽、アウトドア、Englishプログラム等多岐にわたる	今後も、工夫を凝らしたプログラムを提供していきたい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		書面や、連絡アプリ等の確認や共有を必ず行う	シフトの問題があり、終了後に全員で打ち合わせを行うことは難しいが、各自振り返りを行い、必ず共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は徹底されている	振り返りに利用し、改善を行う
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			モニタリングシートの改善を行い、より実践的にする
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関との連携は密に行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要な情報は提供できる体制にある	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		各種イベントに積極的に参加している		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の送迎時のコミュニケーションを重要視している		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△			現在はご家族向けのコラムや研修の情報提供のみ。今後は研修の主催を行いたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談があった場合には即時対応を心掛けている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△			保護者様同士の交流会の開催は、内容やスタイルを熟慮した上で、今後行っていきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	△			SNS等でオープンにして集客を行っている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に基づき、不備のないよう徹底した提供体制を整えている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全対策の一環として、録画機能付きビデオカメラを導入予定
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全対策の一環として、録画機能付きビデオカメラを導入予定
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			安全対策の一環として、録画機能付きビデオカメラを導入予定
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修の徹底	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				